

超高齢社会を迎え QOL 向上のための MI インプラント治療

田中譲治（たなかじょうじ） / 千葉県柏市開業

超高齢社会を迎えいよいよ人生百年の時代へと向かいつつあります。そして、いかに一生生き生きとした人生を送れるようにするかがこれからの医療の重要な役割の一つとなってきました。

そのような意味で、おいしく食事をするためだけでなく認知症や寝たきり防止、アンチエイジング効果と歯の健康が改めて重要視されてきております。そして、その中でも歯を失った際に周囲の歯に負担をかけずに機能を取り戻し、歯の寿命を伸ばすことにつながるインプラント治療が注目されております。そこで、インプラント治療をより普及させるために、外科的侵襲も含めて患者への負担を少なくすることを考慮した MI インプラント治療を中心に報告させて頂き、先生方と一緒にこれからのインプラント治療の方向づけをディスカッションできれば幸いです。

< 主な内容 >

- ・ 外科的侵襲と審美性のためのフラップレス抜歯後即時埋入
プラットフォームスイッチングと TissueCare Concept の利用もふまえて
- ・ 少数のインプラントで高い治療効果が得られるインプラント・マグネットデンチャー
- ・ 多数歯欠損への補綴設計選択
EH テクニック (Electroforming & Hybrid) CAD / CAM、ジルコニア、e.max
- ・ CT および最新テクノロジーを利用したパラダイムシフトともいえる即時荷重の検討

プロフィール

< 略歴 >

- 1986 年 日本大学松戸歯学部 卒業
- 1989 年 田中歯科医院開業 現在に至る
- 2001 年 日本大学松戸歯学部 学位取得
- 2008 年 日本大学松戸歯学部 臨床教授

< 主な活動及び資格 >

日本インプラント臨床研究会専務理事 / 日本口腔インプラント学会専門医・指導医 / 日本歯科審美学会理事 / 日本アンチエイジング歯科学会理事 / 日本磁気歯科学会理事 / 磁性アタッチメント国際研究プロジェクトメンバー / 北原学院歯科衛生専門学校非常勤講師 / AOIA / ICOI / MACS 研究会主宰